

コーティング材入り ボルトキャップ

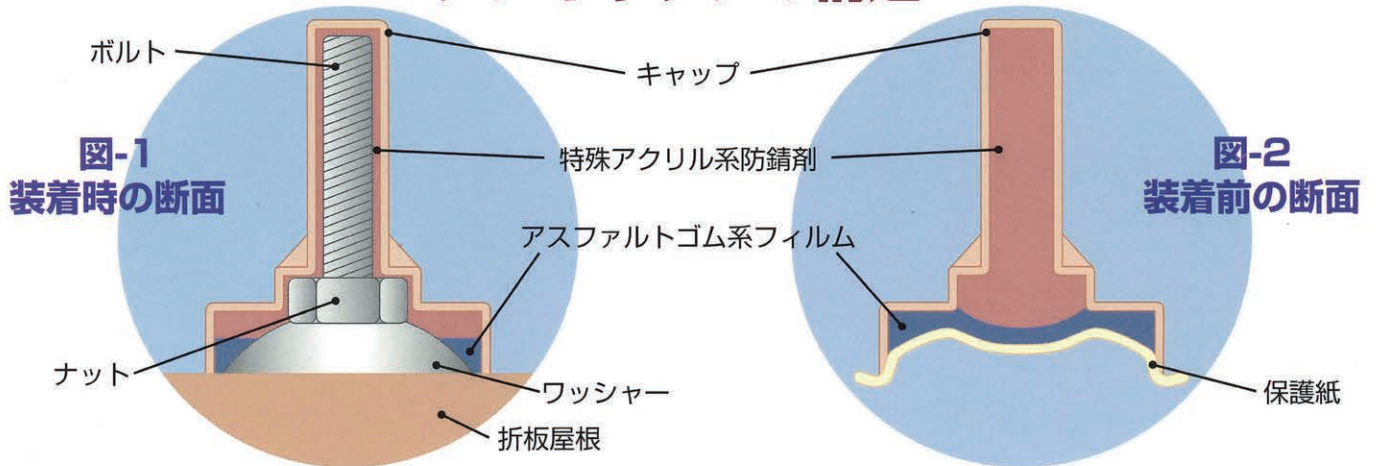
# テンキヤップ

折板屋根・スレート屋根用

## テンキヤップとは…

図-1の様にキャップ内にコーティング材を充填し、この材料を封入したものです。従来の様にキャップ毎にコーティング材を詰めるわずらわしい手間が省け、飛躍的にスピードアップし、又、作業上の汚れと高所作業の簡素化に依り危険性を解消した、時代のニーズに応える商品です。

## テンキヤップの構造



## 作業性抜群！時代のニーズにお応え致します。

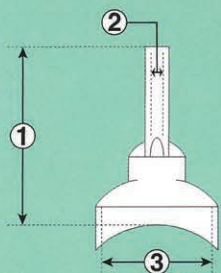
作業性：従来工法の5倍以上のスピードアップ

特徴：防蝕性、シール性(雨もり)、耐候性、耐水性、美観性、安全性(屋根工事の時等)……等

### スレート屋根用

材質：直鎖状低密度ポリエチレン  
カラー：ホワイトシルバー(スレート色)

耐熱・耐寒

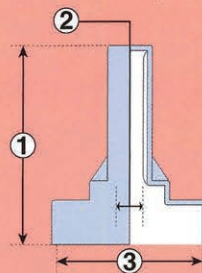


	大波6φ	小波6φ
①	45.4	45.4
②	6.0	6.0
③	29.0	29.3

※プラスチック成型品のため、±1/80程度の誤差があります。

### 折板屋根用

材質：直鎖状低密度ポリエチレン  
カラー：グレー・ブルー・ブラウン



	6φ×37mm	10φ×40mm	8φ×46mm
①	37.0	42.0	48.5
②	6.0	10.2	8.6
③	32.5	38.0	32.5

※プラスチック成型品のため、±1/80程度の誤差があります。

- 注意
- ※-1 冬期の御使用は、できるだけお避け下さい。アスファルトゴム系フィルムの弾性、及び密着性が低下したり、0℃以下になると、アクリル系防錆材が凍結します。(解冻すれば再使用できます。)
  - ※-2 貯蔵は40℃以下にして下さい。
  - ※-3 保護紙は、商品添付のビニール袋へお捨て下さい。

# テンキャップ取扱い説明書

必ずよく読んでからご使用ください。

## 成分

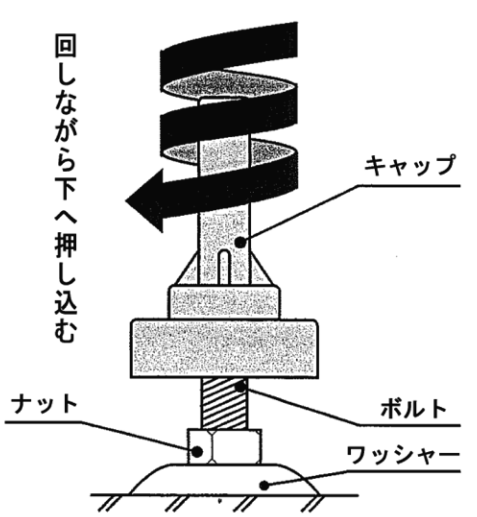
キャップ	直鎖状低密度ポリエチレン
充填材	アクリルエマルジョン(灰色)
フィルム	特殊アスファルトゴム(黒色)

## 施工手順

- ① ケレン  
ウキ錆をワイヤーブラシ等で取り除く。ナットがゆるんでいたら締め直す。  
水分・油分・ゴミ等を完全に除去する。
- ② 取り付け  
離型紙を外しテンキャップを回しながら差し込む。離型紙はゴミ袋に捨てる。
- ③ 塗装を行う場合  
キャップの材質はポリエチレンです。塗料は密着しません。  
充填材は水性エマルジョンです。乾燥してから塗装して下さい。

## 使用上のご注意

### キャップの取り付け方



屋根面

- 必ず左図のように回しながら押し込んでください。
- 絶対に木づち等で叩かないで下さい。
- スレート用の大波・小波は、スレートの山部にあたり最後まで回せませんが、充填材がはみ出さないよう出来るだけ回しながら押し込んでください。
- 上から下に向かってまっすぐ押し込むと中の充填材がキャップの中に充填する前に外へはみ出し外観及び性能面で本来の役目を果たす事が出来ない場合があります。
- ナットの上からボルトの長さが10～15mm以下の場合、装着後に脱落する場合があります。
- 充填材は水性エマルジョンです。乾燥しきっていない状態で水に触れると溶解し流れ出す恐れがあります。降雨・結露・降雪が予想される場合は施工を見合わせて下さい。充填材が流れ出し屋根面に白いスジが残る事があります。
- 気温4℃以下では充填材は非常に乾燥しにくくなります。この場合も施工を見合わせて下さい。

※ボルトのサイズと屋根の種類をご確認の上、適切なサイズのキャップをご使用下さい。誤ったサイズを使用した場合、本来の性能を発揮出来ません。

## 保護具

- 手(指)の保護: キャップを回しながら差し込む為、必要に応じて滑り止め付の手袋等を装着して下さい。

## 保管

- 直射日光は避け、風通しの良い冷暗所で保管してください。
- 夏期の車内等で高温になると離型紙がハガレ難くなる事が有ります。
- 子供の手の届かない所に保管して下さい。
- 端数が出た場合等、開封後に未使用のものを保管する場合はビニール袋に入れ密封し、箱に入れガムテープ等で封をして下さい。
- 低温で保管後すぐに使用した場合、充填材が冷えて固くなっている為ボルトに差し込み難くなります。

## 応急処置

- 充填剤が目に入った場合は、多量の水で洗い早急に医師の診断を受けて下さい。
- 誤って飲み込んだ場合は、早急に医師の診断を受けて下さい。

## 廃棄

- 法令に従って廃棄して下さい。